

航海員(1/2)

1 仕事の内容

航海員は、自衛艦(潜水艦を含む)に乗組み、手旗、発光、旗旒信号により自衛艦同士または商船とのメッセージ交換、並びに艦の操縦に関し操舵装置、航法装置の取り扱い、整備を行っています。また、国旗の掲揚、降下時ラッパの吹奏を行います。なお、潜水艦でも勤務できます。

2 仕事に就くために

特に経験は必要ありませんが、海洋少年団やトランペットの吹奏経験があれば役に立ちます。教育隊終了後、航海要員として約1年間護衛艦等で勤務し、その後、第1術科学校の海士航海課程(約5ヶ月)を経て、護衛艦の航海科航海員として艦艇勤務となります。

3 主な勤務地

全国5カ所の総監部(横須賀、呉、佐世保、舞鶴、大湊)等を母港とする艦艇部隊、第1術科学校等の教育部隊などがあります。



(艦橋内の勤務)



(上級指揮官等への礼式)



(学校での行進)

航海員(2/2)

4 取得可能な資格及び免許

各級海技士(航海)(国家試験)、各級海技(運航)(防衛省内の資格)

5 ライフスタイル(10年間の配置換え等)

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
教育隊(練習員等課程)	護衛艦(航海科航海員)等	第1術科学校(海士航海課程)	護衛艦(航海科航海員)等		教育隊(初任海曹課程)		護衛艦(航海科航海員)等		第1術科学校(海曹航海課程)

(航海員の一日の流れ)

- 停泊中
 - 0700頃 帰艦(出勤)
 - 0800(1200)仕事
 - 1200(1300)昼食、休憩等
 - 1300(1645)仕事
 - 1730頃 上陸(退勤)
- 航海中
 - 0600 起床
 - 0615(0700)朝食
 - 0800(1200)訓練等
 - 1200(1300)昼食、休憩等
 - 1300(1700)訓練等
 - 約3時間3交代制で艦橋で当直勤務

6 先輩からの一言



いろいろな職種がある中で、最も船乗りらしい仕事が航海員です。広大な海を見渡せる艦橋を職場とします。船を操縦したいと思いませんか。

また、手旗や発光等を使用し離れた船と会話できるのも航海員ならではの楽しみになっています。